

消 防 団

消 防 団

消 防 团 の 概 要

1. 消 防 团 の 組 織

消防団は、消防署とともに行政区域を単位として設置しており、札幌市消防団条例に基づき、10消防団・10本部・72分団、定員2,150人の構成をもって組織している。

〈構成図〉(令和5年4月1日現在)

市 長	中央消防団	1 本 部	13分団
	北 消 防 団	1 本 部	11分団
	東 消 防 団	1 本 部	10分団
	白石消防団	1 本 部	7分団
	厚別消防団	1 本 部	4分団
	豊平消防団	1 本 部	6分団
	清田消防団	1 本 部	4分団
	南 消 防 団	1 本 部	8分団
	西 消 防 団	1 本 部	5分団
	手稲消防団	1 本 部	4分団
(10団)		(10本部)	(72分団)

2. 消 防 团 の 事 務

消防団の事務は、消防局職員課が主管となり、さらに各消防署予防課庶務係において、消防団本部と連携をとり執行している。

令和4年度中における消防団事務の概要は、次のとおりである。

(1) 任免状況

133人が退職し、新たに132人を採用し、180人が昇任している。

(2) 表彰状況

消防功労により叙勲5人、消防庁長官表彰6人、北海道知事表彰131人、日本消防協会会长表彰17人などを含め、総数467人、10団体に対して表彰があった。

3. 消 防 团 の 活 動

消防団員は非常勤の地方公務員として、火災をはじめ、風水害など自然災害の有事における災害防除、さらには防火思想の普及を図るために火災予防運動など各種の活動を行っている。

(1) 災害及び予防活動等の出動状況

令和4年中における消防団の災害等出動は、火災・水災害235人、予防及び警戒5,115人となっている。

(2) 研修訓練等の状況

消防活動技術の向上を図るため、消防団業務計画を策定し、学科研修をはじめ各種災害を想定した訓練を実施し、延べ11,160人が出動した。

(3) その他の状況

消防団会議、消防団事務、出初式、機械器具点検、消防水利調査等に延べ9,298人が出動した。

4. 札幌市10消防団連合協議会 (平成17年4月1日設立)

全市的な消防団の施策を展開するため、各消防団相互の横断的な情報の共有及び各消防団管轄区域の地域実情に応じた消防団活動を実施し、これらを包括的に支援し、消防団本来の任務を達成するために設立された。

5. 消防団協力事業所表示制度 (平成19年10月1日施行)

消防団と事業所の協力体制を促進するため、消防団に協力している事業所に対し、社会貢献の証として表示証を交付する制度を発足した。交付事業所数は令和5年4月1日現在47事業所となっている。

消防団員定員現員状況 (令和5年4月1日現在)

(単位：人)

区分	総数	団長	副団長	分団長 (本部長を含む)	副分団長 (副本部長を含む)	部長	班長	団員	
総数	定員	2,150	10	20	82	88	270	414	1,266
	現員	1,721	10	20	82	86	233	335	955
	(女性)	409	—	—	(4)	(9)	(47)	(92)	(257)
中央	定員	279	1	2	14	15	38	64	145
	現員	203	1	2	14	15	26	42	103
	(女性)	48	—	—	(1)	(2)	(5)	(13)	(27)
北	定員	298	1	2	12	13	39	61	170
	現員	264	1	2	12	13	39	52	145
	(女性)	52	—	—	—	(1)	(6)	(10)	(35)
東	定員	299	1	2	11	12	39	59	175
	現員	250	1	2	11	11	36	52	137
	(女性)	47	—	—	—	(1)	(6)	(8)	(32)
白石	定員	210	1	2	8	9	26	40	124
	現員	172	1	2	8	9	24	38	90
	(女性)	40	—	—	—	(1)	(4)	(14)	(21)
厚別	定員	130	1	2	5	5	15	23	79
	現員	95	1	2	5	5	14	23	45
	(女性)	25	—	—	(1)	—	(1)	(7)	(16)
豊平	定員	210	1	2	7	8	25	37	130
	現員	144	1	2	7	7	16	28	83
	(女性)	43	—	—	(1)	(2)	(6)	(12)	(22)
清田	定員	130	1	2	5	5	15	23	79
	現員	112	1	2	5	5	14	19	66
	(女性)	30	—	—	—	—	(3)	(5)	(22)
南	定員	250	1	2	9	10	31	47	150
	現員	187	1	2	9	10	26	37	102
	(女性)	49	—	—	—	(1)	(8)	(9)	(31)
西	定員	200	1	2	6	6	24	34	127
	現員	188	1	2	6	6	21	25	127
	(女性)	40	—	—	(1)	—	(3)	(8)	(28)
手稻	定員	144	1	2	5	5	18	26	87
	現員	106	1	2	5	5	17	19	57
	(女性)	35	—	—	—	(1)	(5)	(6)	(23)

(注) 女性団員数は内数である。

消防団員任免状況 (令和4年度中)

(単位：人)

区分	総数	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稻
採用	132	29	22	22	4	6	18	3	8	12	8
昇任	180	26	33	43	4	32	9	1	—	21	11
退職	133	19	13	13	14	15	15	11	8	12	13

消防団員表彰状況 (令和4年度中)

(単位：人、団)

区分	総数	功労などの賞	永年勤続	優良消防団	退職消防団員
総数	467	33	377	10	47
叙勲	5	5	-	-	-
消防庁長官	6	-	6	-	-
知事	131	2	129	-	-
市長	172	-	115	10	47
団長	11	11	-	-	-
10団連会長	1	1	-	-	-
日本消防協会長	17	3	14	-	-
北海道消防協会長	124	11	113	-	-

消防団員出動状況 (令和4年中)

(単位：回、人)

区分	総数		火災・水災害		研修・訓練		予防・警戒		その他	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
総数	7,467	25,808	144	235	2,844	11,160	1,345	5,115	3,134	9,298
中央	1,076	3,138	32	51	406	1,183	198	611	440	1,293
北	1,382	4,520	20	35	707	1,797	289	1,299	366	1,389
東	1,059	3,838	8	13	392	1,819	218	888	441	1,118
白石	662	2,233	20	33	296	1,185	97	360	249	655
厚別	521	1,695	25	32	155	651	102	270	239	742
豊平	555	1,990	5	9	230	1,054	60	198	260	729
清田	613	1,924	2	2	171	840	156	371	284	711
南	730	2,716	16	35	230	1,265	110	348	374	1,068
西	573	2,615	8	13	166	804	75	591	324	1,207
手稻	296	1,139	8	12	91	562	40	179	157	386

- (注) 1. 回数のうち、火災については出動した件数、他は団又は分団単位の出動回数である。
 2. その他は、消防団会議、消防団事務、出初式、機械器具特別点検、消防水利調査などである。
 3. 人員は、延べ人員である。

研修・訓練実施状況（令和4年中）

(単位：人)

区分		目的	人員
所属研修	実科・学科研修	団員として必要な知識、技術を習得し資質の向上を図る。	1,100
学校研修	基礎教育課程	火災予防及び消火活動上必要な基礎知識の習得を図る。	103
所属訓練	基本・応用訓練等	団員として必要な知識・技術を習得し災害対応能力の向上を図る。	4,431
	防災訓練	防災に関する知識技能の習得及び有事即応の防災体制の確立と防災思想の普及を図る。	18
訓練大会	各消防団訓練大会	団員の体力気力の鍛練と消防技術の向上を図る。	3,879
その他			1,629
合計			11,160

- (注) 1. 実施人数は、延べ人数である。
 2. その他は、札幌市10消防団連合協議会事業計画外に行われた各団独自の研修・訓練等（訓練礼式・ポンプ操作等）である。

年齢別消防団員数 (令和5年4月1日現在)

(単位：人)

区分	総数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
総数	1,721 (409)	10 -	20 -	82 (4)	86 (9)	233 (47)	335 (92)	955 (257)
20歳未満	18 (4)	-	-	-	-	-	-	18 (4)
20～24	76 (14)	-	-	-	-	-	-	76 (14)
25～29	33 (8)	-	-	-	-	-	4 (8)	29
30～34	33 (4)	-	-	-	-	-	2 (4)	31
35～39	104 (20)	-	-	-	-	1 (2)	10 (2)	93 (18)
40～44	159 (37)	-	-	1 -	1 -	11 (2)	19 (4)	127 (31)
45～49	274 (71)	-	-	2 -	3 (1)	21 (5)	51 (13)	197 (52)
50～54	282 (83)	-	-	4 -	9 -	39 (5)	81 (22)	149 (56)
55～59	256 (61)	-	2 -	13 (1)	16 (3)	48 (6)	65 (19)	112 (32)
60～64	199 (49)	2 -	3 -	18 -	19 (2)	48 (10)	41 (15)	68 (22)
65歳以上	287 (58)	8 -	15 -	44 (3)	38 (3)	65 (19)	62 (17)	55 (16)

(注) () は、女性団員数で内数

勤続年数別消防団員数 (令和5年4月1日現在)

(単位：人)

区分	総数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
総数	1,721 (409)	10 -	20 -	82 (4)	86 (9)	233 (47)	335 (92)	955 (257)
1年未満	116 (27)	-	-	-	-	-	1 -	115 (27)
1～4	321 (94)	-	-	-	-	-	5 (2)	316 (92)
5～9	343 (100)	-	-	3 -	2 -	5 (3)	52 (19)	281 (78)
10～14	271 (66)	-	-	3 (1)	7 -	32 (8)	98 (27)	131 (30)
15～19	257 (72)	-	-	7 -	14 (4)	63 (11)	106 (35)	67 (22)
20～24	149 (28)	-	-	9 -	19 (4)	56 (13)	39 (6)	26 (5)
25～29	112 (17)	-	4 -	16 (1)	20 -	41 (10)	20 (3)	11 (3)
30～34	68 (5)	1 -	5 -	23 (2)	11 (1)	18 (2)	8 -	2 -
35～39	46 -	4 -	6 -	9 -	10 -	11 -	3 -	3 -
40～44	27 -	3 -	4 -	8 -	2 -	4 -	3 -	3 -
45歳以上	11 -	2 -	1 -	4 -	1 -	3 -	- -	- -

(注) () は、女性団員数で内数

職業別消防団員数 (令和5年4月1日現在)

(単位: 人)

区分	総数	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
総数	1,721	203	264	250	172	95	144	112	187	188	106
サービス業(他に分類されないもの)	182	23	29	32	19	6	14	12	24	15	8
医療、福祉	136	18	21	16	11	8	10	14	7	20	11
運輸業、郵便業	76	6	6	9	12	11	7	1	9	11	4
卸売業、小売業	250	38	25	34	17	10	31	15	32	36	12
学術研究、専門・技術サービス業	47	10	6	8	6	3	4	3	3	4	-
教育、学習支援業	35	8	4	4	4	-	3	3	1	6	2
金融業、保険業	51	10	9	5	9	3	1	2	8	2	2
建設業	226	9	48	39	22	6	11	18	25	30	18
公務(他に分類されるものを除く)	31	3	6	3	2	3	-	5	2	4	3
鉱業、採石業、砂利採取業	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1
宿泊業、飲食サービス業	71	11	13	7	2	3	6	4	19	5	1
情報通信業	25	3	7	1	2	-	6	2	2	2	-
生活関連サービス業、娯楽業	69	12	8	7	8	6	6	3	8	7	4
製造業	83	10	10	16	9	7	4	5	3	9	10
電気・ガス・熱供給・水道業	28	2	6	5	1	1	1	3	2	4	3
農業、林業	56	-	9	20	9	2	-	1	13	1	1
不動産業、物品賃貸業	89	16	14	18	13	6	7	3	5	5	2
複合サービス事業	5	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-
分類不能の産業	25	7	2	2	5	3	2	-	-	2	2
その他(学生・主婦など)	233	16	37	23	21	17	31	18	23	25	22

(注) 職業は、統計調査に用いる産業分類を定める政令(昭和26年政令第127号)に基づく産業分類による。

消防団施設・機器配置状況(令和5年4月1日現在)

区分	器具置場数	軽可搬消防ポンプ台数	車両台数
総数	72	80	4
中央	10	14	-
北	15	16	-
東	10	11	1
白石	7	7	-
厚別	4	4	-
豊平	5	6	-
清田	4	4	1
南	8	9	1
西	5	5	-
手稲	4	4	1

(注) 器具置場数には、署所内配置も含む。